

名古屋大学グローバルネットワーク

国際交流グループ

2016 年度活動報告書



名古屋大学グローバルネットワーク

2016 年度活動報告書

1. 名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）紹介
2. スモールワールド・コーヒーアワー活動報告
3. プレゼンテーションアワー活動報告
4. ヘルプデスク活動報告
5. 留学のとびら活動報告
6. English College
7. Inspire Together 活動報告
8. 異文化交流サークル ACE 活動報告
9. NUFSA 名古屋大学留学生会 活動報告



名古屋大学グローバルネットワーク（国際交流グループ）

名古屋大学ではキャンパスの国際交流を活発にするために
学生が主体となって様々な交流活動をしています。
そんな活動を一緒にサポートしてくれる仲間を募集しています。
学生の皆さんの参加をお待ちしています！

スモールワールド・コーヒーアワー（Small World Coffee Hour）

コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と一般学生が出会い、文化や学生生活に関することなどを気軽に話し合える国際交流の場を毎月（学期中）に開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

（問い合わせ）国際教育交流センターアドバイジング部門（IB 電子情報館西棟 739 号室）

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～（Presentation Hour “20 seconds of Inspiration”）

国際色豊かなプレゼンテーションを通して、アカデミックな交流の場を年に1～2回開催しています。プレゼンテーションの内容は、研究、専門、趣味、異文化・留学体験、マイブームなど多岐に渡ります。プレゼンター、または運営スタッフとして一緒に活動してくれる仲間を募集中です！

（問い合わせ）国際教育交流センターアドバイジング部門（IB 電子情報館西棟 739 号室）

Email: isa@iee.nagoya-u.ac.jp

URL: <http://acs.iee.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

facebook: www.facebook.com/meidaicoffeehour

ヘルプデスク（Help Desk）

各学期の最初の3週間、国際棟のラウンジに設置するヘルプデスクを拠点に、新規来日した留学生へのサポート活動を行っています。また、留学生との交流のきっかけになるようなイベントも企画しています。留学生が気軽に立ち寄れる場を一緒に創ってくれるボランティアを募集中！

（問い合わせ）国際教育交流センター交換留学受入室 NUPACE Office（国際棟 103 号室）

Email: nuhelpdesk.ad@gmail.com

留学のとびら（Gateway to Overseas Studies）

留学のとびらは、交換留学、語学留学など色々な形の「留学」を経験した名大生による、将来の名大留学候補生をサポートする団体です。毎年留学フェア、留学相談会を主催、その他留学に関連する様々

な企画立案しています。留学は現地に行ってみないとわからないことがたくさんです。留学に興味があるけど不安、実際に留学経験者の話を聞いてみたい、という人は是非イベントなどに参加してみてください！また、留学経験を後輩の役に立てたい、という経験者の参加もお待ちしています！

(問い合わせ) 国際教育交流センター海外留学部門 (国際棟 107 号室)

Email: ryugakunotobira@gmail.com

URL : <http://amebaryutobi.amebaownd.com/>

facebook: <https://www.facebook.com/ryugakunotobira/>

English College

English College は英語を話す機会をすべての人に提供することを目的とした国際教育交流センターの学生サークルです。昼食時に英会話で盛り上がり、英語でディスカッションをしたりと、様々なイベントを定期的に行っています。どの学年からでも気軽に参加できます。

(問い合わせ) 国際教育交流センター海外留学部門 (国際棟 107 号室)

facebook: <https://ja-jp.facebook.com/nuenglishcollege>

(開催場所) 国際棟 空いている教室で開催しています

(活動日時) お昼休み (要問合せ)

異文化交流サークル ACE (Action Group for Cross-Cultural Exchange)

ACE では、「交流・架け橋・ボランティア」の三大理念を掲げ、活動を行っています。毎年 4 月、10 月頃に名古屋大学に来る留学生に対し、入寮のサポートやウェルカムパーティー等を開催したり、他にも 1 年を通じて留学生と一般学生との交流を図るイベントを行ったりすることで、留学生が日本での生活を楽しめるよう少しでも力になりたいと考えています。いつでも誰でもお気軽に参加してください！

(問い合わせ) URL: <http://ace.tuzikaze.com>

facebook: <https://www.facebook.com/Events-of-ACE-293892397287990/>

NUFSA 名古屋大学留学生会 (Nagoya University Foreign Students Association)

名古屋大学の留学生や一般学生など多様なメンバーで構成されている留学生会です。名古屋大学で学ぶ留学生が楽しく留学生活を送れるようサポートしたり、国際交流イベントを開催しています。参加お待ちしております！

(問い合わせ) Email: nufsa.nagoya@gmail.com

facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

スモールワールド・コーヒーアワー Small World Coffee Hour

2016 年度 活動報告

総合文責:佐藤菜摘

1. 団体紹介

Small World Coffee Hour はイベント「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワーと省略)を企画・運営する団体である。外国人留学生や一般学生に新たな出会いと繋がりを作る場を提供することを目的として、2005 年後期に発足した。以後、イベント内容に工夫を凝らし、活動記録のテンプレートを作成して組織運営を円滑化することで、イベントだけでなく組織としての規模も大きくなってきている。2016 年度はアットホームな雰囲気を大事に発展することを目標に活動し、ディスカッション形式の新規交流企画への挑戦や広報活動にも力を入れた。

1.1 理念

留学生や一般学生をはじめとする様々な文化的背景を持つ人たちに、学内での交流の場を提供することを目的としている。それぞれの文化的背景を考慮した、誰もが楽しめるイベントを行えるよう心がけている。

1.2 特徴

- ・ 有志の学生が中心となって活動を行っている。(学部・学年は問わない)
- ・ 誰でも参加できるオープンなイベントを基本的に各学期 3~4 回、月に 1 度のペースで開催できるよう企画・運営をしている。
- ・ 参加者同士が話すきっかけとなるようなテーマやアクティビティを設定している。

2. 活動紹介

2.1 活動について

■ミーティング

週に 1 度(毎月 3~4 回)の頻度で行い、企画シートをもとにして、その月のコーヒーアワーのテーマや内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、メーリングリストで流して情報を共有している。

■広報活動

各イベントのポスターを、各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂などに掲示した。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流してもらうようお願いした。コーヒアワーの Facebook ページで、イベント毎にイベントページを作成しメンバーの知り合いを招待した。

2.2 コーヒアワーについて

■当日の動き(目安)

15:30 国際棟給湯室にてコーヒーを準備

16:00 会場で企画シートに沿って設営開始

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

18:00 イベント終了、片付け

18:30 振り返りミーティング

■本年度の工夫点

コーヒアワー特別企画「プレゼンテーションアワー」（詳しくは同報告書のプレゼンテーションアワー活動報告参照）との兼ね合いにより、前期は 4・5・6 月、後期は 10・12・1 月に臨機応変にイベントを行った。当日の準備に来られるメンバーが少ないことが多かったため、準備の時間を早めたことも度々であった。また、新規交流企画への挑戦として、「ワールドカフェ」と呼ばれるディスカッション型交流企画をコーヒアワー風アレンジし 6 月と 12 月に行い、今までのコーヒアワーとは異なる新たな形で交流の場の提供を試みた。

3. 年間行事記録

【4 月のコーヒアワー：嘘つき自己紹介】 文責:岩崎絵里加

日時・場所:4 月 28 日(木)16:30～18:00 ・フレンドリィ南部

参加人数:約 40 人

イベント概要:嘘つき自己紹介は、参加者が互いの人となりをよく知ることができるよう企画した、新学期4月の恒例となっているイベントである。参加者は自己紹介シートを受け取り、自分の紹介文を記入する。シートには5つの項目があり、その中の1つには嘘を書く。その後、自由に他の参加者と交流し、シートをもとに自己紹介しあう。話した人の名前をシートに書き込み、相手の嘘を見抜けたら名前の隣に印をつける。シートは片面に日本語表記を、もう片面に英語表記を印刷し、日本人学生と留学生の両方が参加しやすいよう工夫した。「私は〇〇出身です」「100万円あったら〇〇します」という人柄を紹介する項目や、「名古屋で好きな場所は〇〇です」という新学期ならではの項目を用意した。

実施した感想:4月の恒例となっているイベントで今回も盛り上がってよかった。最初に一声かけるのは少し勇気がいるようだが、話し始めると時間を忘れて盛り上がって、とても楽しい時間を過ごすことができた。大幸キャンパスからわざわざ足を運んでくれた学生がいたことをよく覚えている。

気づいたこと(改善点など): 参加人数が昨年よりも少なかったので、来年は会場を IEEC ロビーに移すことを検討する。また、当日参加できたスタッフの人数が少なかったなので、今後はスタッフが集まれる曜日にイベント本番を設定する。お菓子を会場前方に固めておいたが、手を出しづらかったのかたくさん余ってしまった。



【5月のコーヒーアワー：書道&カルタ】 文責:佐藤菜摘

日時・場所: 5月27日(金)16:30~18:00 ・国際棟1階ラウンジ

参加人数:約40人

イベント概要: コーヒーやお茶を飲み、お菓子を食べながら、日本文化を楽しめるように、書道とカルタが体験できるコーナーを設置した。参加者には好きな方を体験してもらった。書道はコーヒーアワースタッフや参加した日本人学生が教え、カルタは日本語が比較的易しいものを使用した。

実施した感想：今回は初めて参加した人が多く見られ、また日本人と留学生の割合も半々程度だったため、ちょうど良い割合であった。また、日本人が留学生に書道を教える事で交流が盛んに行なわれていた印象が大きい。

気づいたこと(改善点など)：ことわざのかるたは留学生にとっては難しいので、次回は簡単なものだけを使用する方がいいのではないかな。また、カルタはどうしても人が固まってしまう新たに来た人にとっては行きづらいので、場所を工夫する必要がある。遅れてきた人の対応のためにもイベント開始後、スタッフ一人は受付に残るようにする。



【6月コーヒアワー：ワールドカフェ】 文責：廣瀬治佳

日時・場所：6月24日（金）16:30～18:00 @国際棟1階ラウンジ

参加人数：約50人

イベント概要：お菓子や飲み物を飲みながら、リラックスした雰囲気の中で、さまざまなバックグラウンドをもつ参加者同士が「あなたの異文化体験」というテーマについて話し合った。使用言語は英語と日本語である。参加者は6～7つのグループに分かれ、グループごとにそれぞれ話し合いを行った。20分を1セッションとし、3セッション行った。1セッションごとにグループメンバーを入れ替えることで、参加者がより多くの人と話し合いを楽しめるよう工夫した。また、参加者が話し合いを円滑に進めることができるよう、各テーブルに模造紙を用意した。

実施した感想:話し合いのテーマが決まっていたため、どのグループもある程度話が弾んでいた印象を受けた。どの参加者も楽しんでいて見受けられた。また、20 分の話し合いを 3 回行ったことで、普段のコーヒーアワーよりも参加者同士の交流が増え、この点に関しては参加者からも好評であった。今回は、NUFSA（名古屋大学留学生会）からの留学生など、幅広い学生が参加した。加えて、リピーターの NUPACE（交換留学）生も多く参加してくれた。

気づいたこと（改善点など）:全体的に言語のサポートが不十分であった。例えば、参加者が話についていけなくなった際に HELP カードを出せるようにしたり、ルール説明の際に言語に関するアドバイス（ゆっくり話すなど）を参加者に行ったりするとよいのではないかと。また、（特に日本人学生に多かったが）あまり喋らない人に対してホスト（コーヒーアワースタッフ）がうまく話を振ってあげられるとよかった。席移動の方法やグループ内の言語バランスの調整に関しては、工夫が必要である。遅れてきた参加者の対応に関しても少し工夫する必要がある。

【10 月のコーヒーアワー：自己紹介 BINGO】 文責：神谷柚衣

日時・場所：10 月 21 日（金曜日）16:30～18:00 @国際棟 1 階ラウンジ

参加人数：50 人

イベント概要:ゲーム開始前に 5×5 マスのビンゴシートに書かれた質問に回答し、開始後に答えの一致する相手を探して相手の名前をマスに記入するというゲームを行った。名前が記入されたマスが一行揃えばビンゴとして、速くビンゴを達成した人には景品を贈った。質問内容は「何か国語話せますか?」「J-POP は好きですか?」といったもので、シートの質問をきっかけに会話することで互いの自己紹介ができるようになっていた。

実施した感想:参加者は和気あいあいと会話を楽しんでいたよかった。人数も程よい人数で、スムーズにイベントを行うことができた。

気づいたこと（改善点など）:1 ビンゴで景品を渡すとすぐになくなってしまうので、ビンゴ数の多い人に景品を渡した方が、長い時間ビンゴを行ってもらえると思った。また、ビンゴのルールをあまり理解していない人もいたので、事前に説明をした方がよかった。



【12月コーヒアワー：ワールドカフェ】 文責：山道知可

日時・場所：12月13日(火) 16:30～18:00 @国際棟1階ラウンジ

参加人数：約30人

イベント概要:今回は6つのグループに分かれて、それぞれで「冬」をテーマに会話をしてもらった。グループは日本語・英語・日英ミックスをそれぞれ2つずつ作り、参加者は各自、好きな言語を選ぶようにした。会話は3ラウンドに分け、それに合わせてトークのテーマとメンバーを交代した。また、それぞれのテーブルにはスタッフが2名程度ずつ配置され、各グループでの会話をスムーズに進められるようにした。さらに、各テーブルに模造紙とペンを用意することで、コミュニケーションの疎通を行いやすいようにした。

実施した感想:模造紙が用意されていることにより、それぞれが思い思いに好きなことを書くことができ、言葉の壁を越えた文化交流やスムーズな会話を行うことができたようであった。さらに、会話のテーマ設定も話しやすいものであり、適切であったとの意見を参加者から頂いた。人数こそは少なかったが、アットホームな雰囲気であり、後から参加した人も入りやすかったとの意見も聞かれた。

気づいたこと(改善点など):初めて来た参加者の多くがFacebookによって情報を得たということがわかったため、もう少し招待できることが望ましいだろう。また、日本語で会話しているグループも多かったため、明確に言語を分ける必要はあまりなく、参加者の使いたい言語が書いてある名札を見て、スタッフが臨機応変に対応するという方法は検討の余地がある。さらに、友達作りのきっかけになったり、会話のテーマを名大についてにしたらお互いのおすすめスポット等を教え合うことができ、新入生や新しく来た留学生のサポートになるであろうから、スタッフの人数にもよるが、学期の初めに行うこともよいかもしれない。



【1月のコーヒーアワー：折り紙、かるた、映画】 文責：川村 彩

日時・場所：1月17日(火)16:30～18:00 ・国際棟1階ラウンジ

参加人数：約 20 人

イベント概要：お茶やお菓子を片手に映画「猫の恩返し」を観たり、カルタや折り紙で遊ぶ。折り紙、カルタ、映画の三つのコーナーを作り、参加者が自由に動き回れるようにお菓子などの配置を工夫した。折り紙は、留学生向けに事前にサンプルを作ってテーブルの上に飾っておいた。カルタは日本語が簡単な「世界の国かるた」や「世界の童話かるた」を使用した。

実施した感想：参加者が20人程度だったため、アットホームな雰囲気ですぐにイベントを行うことができた。また、テーマがカルタや折り紙であったため、日本人の参加者が少なく、留学生の参加が多かった。リピーターで来てくれる人もいた。折り紙、カルタともに人気で、参加者みな熱中して取り組むことができた。映画はBGMの代わりに、折り紙の最中に時々見るものとして適していた。カルタでは日本語の勉強をしたい留学生に熱心に参加もらうことができた。カルタの札に描かれている絵をきっかけに参加者同士の会話を活発にさせることもできた。

気づいたこと(改善点など)：折り紙では、紙の角と角を合わせるなどの細かい点を教えることが難しかった。またカルタのテーブルの位置から、映画が見えないということもあった。映画だけを見る人は少なかった。映画を観たいけれど一人になってしまうのが嫌で見たくないという参加者もいた。映画の周りの椅子を、お菓子を囲むように配置するなど、工夫が必要である。準備の段階で、映画のDVDをプロジェクターに映す際にロックがかかっていたため映すことができなかったため、今後DVDを利用する場合、事前の確認をしないといけない。

4. メンバー紹介（大切にしていること・抱負）

川村彩 工学部化学生物工学科 2 年

★大切にしていること

参加者の方も自分も、リラックスして国際交流を楽しめるような企画づくりや気配りができるようにすること。

★来年の抱負

1 月コーヒアワーからの参加だったのですが、先輩方が丁寧に教えてくださったため、1 月の月担当をすることができました。コーヒアワーの雰囲気が好きなので、来年度からはもっと積極的に参加していきたいと考えています。ゆったりと頑張っていきたいです。

井上美里 文学研究科 M1

★大切にしていること

ほんわかとしてリラックスできるけど刺激的で元気をもらえる、コーヒアワー独特の雰囲気を大切にしています。多面的な角度からアイデアを出して、スタッフを含めいろいろなバックグラウンドを持った参加者全員が楽しめるイベントを作りたいと思っています。

★来年の抱負

2016 年度はワールドカフェなど新しい試みもできてとてもよかったと思います。後期からは留学のため活動することができませんでしたが、学部 1 年からずっとスタッフをしてきた CH としばらく遠ざかってみて、自分にとって CH がいかに大切だったか、影響を受けてきたか改めてわかりました。来年度も CH からいろいろなことを学びつつ、楽しみながら CH の素敵な雰囲気と新しい試みをミックスさせていきたいなと思います。

神谷柚衣 経済学部経営学科 4 年

★大切にしていること・来年の抱負

今年のコーヒアワーは割と人数規模が小さく、参加者にはじっくりと交流を楽しんでもらえたのではないかと思います。しかし国際交流に興味を持っている人たちはまだいると思うので、Coffee Hour をより多くの人に知ってもらえるようにするのが今後の目標です。また留学から帰ってきてから国際交流をする機会が個人としても減っているので、スタッフながらも参加者の一員として楽しんでいきたいです。

木下悟 農学部応用生命科学科 4 年

★大切にしていること

イベントに来てくれた人が寂しい思いをすることのないようにアクティビティなどを利用して初参加の人にも話しかけるようにしていること。

★来年の抱負

来年度はさらに興味深い交流企画を実施してコーヒアワーの新しい1面を開ければいいなと思います。

山道知可 法学部 1年

★大切にしていること 異文化交流の中で、お互いの意見を尊重し合うこと

★来年の抱負 来年度のコーヒアワーをよりよくするために今年の反省を最大限生かしたい。

廣瀬治佳 情報文化学部/社会システム情報学科 3年

★大切にしていること・来年の抱負

いつも参加した人の心がほっこり温まるイベントになるように心がけています。来年度も、いい意味でまったりゆったりしたコーヒアワーらしい雰囲気を大切に、イベントを開催していきたいです。

森下実佐都 情報文化学部 自然情報学科 4年

★大切にしていること

今年度は忙しくなかなか参加することができなかったですが、コーヒアワーの常にウェルカムな雰囲気でいつでも帰ることができました。雰囲気作りはコーヒアワーが大切にしていることのひとつだと常に思います。

佐藤菜摘 文学部 言語学専攻 3年

★大切にしていること・来年の抱負

リピーターの方にも初めて参加される方にも居心地の良いイベントになれるようにリラックスした雰囲気を大切にしています。去年までは一参加者としてコーヒアワーを楽しんでいましたが、来年はメンバーとしてコーヒアワーを更に盛り上げられるよう活動に力を入れます。

中山清香 教育学部 4年

★大切にしていること

来場者の方々が学部や国の枠を超えて交流しやすいようなイベントになればと思いながら企画・運営させていただきました。

福井ゆたか 教育学部 3年

★大切にしていること

誰にでも来てもらえるボーダーレスな環境と雰囲気をつくって、笑顔で接すること

★来年の抱負 より多くの人にコーヒアワーを知ってもらい、イベントを通じて和んでもらうこと。

プレゼンテーションアワー Presentation Hour

2016 年度 活動報告

総合文責:森下 実佐都

1. 団体紹介

Presentation Hour (以下、プレゼンアワーと省略)は「Small World Coffee Hour」(以下、コーヒーアワーと省略)の特別企画として 2014 年に発足、以来年 2 回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営する団体である。外国人留学生や一般学生など多様なバックグラウンドを持つ学生がアイデアを共有する場を提供することを目的としている。発足以来、プレゼンターの募集や会の運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターとしての参加者募集も増加し規模も大きくなってきている。2016 年度は、企画の立ち上げ以降初期のメンバーがいない中での初めての運営ということもあり、一層活動に計画や工夫に力を入れた。

1. 1 理念

留学生、一般学生を問わず、プレゼンターが自分の活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方を知ること、参加者全員の世界を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士がプレゼンテーションを通して交流を深める場を提供することを心がけている。

1. 2 特徴

- ✧ 有志の学生が中心となって活動を行っている。(学部・学年は問わない)
- ✧ 誰でも参加できるようなオープンなイベントを基本的に各学期 1 回のペースで開催できるよう企画・運営をしている。プレゼンテーマが偏らないよう、留学生の参加者や様々な学年の方にプレゼンをしてもらうように心がけている。

1. 3 メンバー構成

井上美里 (文学研究科 M1 年)

清美樹 (工学研究科 M1 年)

植手淑乃 (文学部 4 年)

木下悟 (農学部 4 年)

森下実佐都 (情報文化学部 4 年)

岩崎絵里加 (経済学部 3 年)

嶋田耕太郎 (工学部 3 年)

廣瀬治佳 (情報文化部 3 年)

福井ゆたか (教育学部 3 年)

佐藤菜摘 (文学部 3 年)

山田 美佳 (経済学部 3 年)

吉岡佑太（理学部 2 年）

川村彩（工学部 2 年）

山道知可（法学部 1 年）

若杉美穂（文学部 1 年）

2. 活動紹介

2. 1 活動について

■ミーティング

週に 1 度（毎月 3～4 回）の頻度 3 か月半程度かけ一回のプレゼンテーションアワーの企画をしている。プレゼンターの募集やプレゼンターへのメンター活動を通し学期末のプレゼンアワー当日の内容、役割分担、会場のレイアウトなどを決めている。各ミーティングでは、議事録を作成し、メーリングリストで流して情報を共有している。

■広報活動

各イベントのポスターを、各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂などに掲示した。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流してもらった。Facebook ではイベント前約一か月間をかけ、プレゼンテーションの内容やゲストの紹介などを行うことでイベント周知を図った。

2. 2 プレゼンアワーについて

■当日の動き（目安）

15:30 国際棟給湯室にてコーヒーを準備，会場で企画シートにそって設営開始

16:15 受付開始

16:30 イベント開始

19:00 頃 イベント終了，写真撮影，懇親会の準備

20:00 頃 懇親会終了

20:00 片づけ

【7 月第 4 回プレゼンテーションアワー】

文責：森下 実佐都

「第 4 回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる 20 秒～」

日時・場所：7 月 8 日（金）16:45-18:45 @国際棟 1 階ラウンジ

参加人数：50 人程度

イベント概要

第 4 回を迎えたプレゼンテーションのイベントを今期も開催した。

今回は学生プレゼンター4名とゲストスピーカー1人が登壇し、そのうち3名が日本語で、残りの2名が英語でプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションのテーマについては完全に自由となっており、プレゼンターはそれぞれ、趣味や取り組んでいる活動などについて話をした。例えば、「物づくり体験について」「アメリカでの交換留学の経験」等があった(詳細はプログラム参照)。プレゼンテーションの間の休憩時間を長く取り、参加者が会話をしやすいようにしていた。また、コーヒーやお菓子を用意し、会場のレイアウト、照明、休憩時間に流れる音楽などを工夫することで、参加者がくつろぎながら話ができるような雰囲気を作り出した。

実施した感想

第四回目とあってこれまでの経験を踏まえマニュアル等の作成もされていたため、準備に目処を立てて計画的に進めることができた。これまでのイベント形態を大きく見直すなど4回目であっても積極的に活動することができた。

内容としては今回も、多くの留学生オーディエンスとして参加してくださるなど充実したイベントとなった。学生のプレゼン技術も高く、来場者からの評判も非常に良かった。

気づいたこと(改善点など)

今回はゲストを含め5名のプレゼンターでイベントを行った。イベント時間と人数のバランスが丁度良くCoffee Breakの時間を十分取ることができた。また、多くの留学生がイベントに集まってくれた。一方でプレゼンターに日本人が多く、日本語でのプレゼンも多かったのも、英語での理解がしばらく一部の留学生には伝わりにくいものとなってしまった。よりよい翻訳や二か国語の併用の方法について考えたい(司会の工夫や言語補助のつけ方等)。イベント後に行った懇親会では、多くの留学生オーディエンスがそのまま参加してくれたため充実した懇親会にすることができた。今後安定的に参加してもらえよう工夫をしたい。

【12月第5回プレゼンテーションアワー】

文責：山田 美佳

「第5回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所： 12月2日(金) 16:30-18:45 @国際棟1階ラウンジ

参加人数： 約50人

イベント概略

今回は学生プレゼンター6名とゲストスピーカー1名が登壇し、そのうち3名が日本語で、残りの4名が英語でプレゼンテーションを行った。プレゼンテーションのテーマについては完全に自由となっており、プレゼンターはそれぞれ、趣味や取り組んでいる活動などについて話をした。具体的には、「食べ物を通じた人とのコミュニケーションのすすめ」「自身のラオスでの国際交流活動を通じた学びについて」「農業サークルの活動紹介と自身の学びについて」等様々なテーマがあった(詳細はプログラム参照)。前回に引き続きコーヒーやお菓子を用意し、会場のレイアウト、照明、休憩

時間に流れる 音楽などを工夫することで、参加者がくつろぎながら話ができるような雰囲気を作り出した。

実施した感想

1 人目のプレゼンターが急遽体調不良で来られなくなってしまったが、アカデミック、エンターテインメント共に様々なトピックが集まり、充実したイベントとなった。プレゼンテーション中に音楽を流すなど新しい演出もあり、学生のプレゼン技術も高く、来場者からの評判も非常に良かった。英語のプレゼンで専門用語には日本語訳を付けてもらい、司会者による通訳も細かったことから、両言語とも観客の理解が深まって会場が活発であった。イベント後に行った懇親会では、想定以上の人数が集まり、次回から懇親会参加者には会費を取る案も出された。

気づいたこと（改善点など）

今回は公募開始と共に続々と応募者が増え、定員オーバーするほどとなった。英語と日本語のバランスを考えプレゼンターを選出したが、今後は登壇者の選定を視野に入れて、公募の時期ややり方を見直す必要がある。他にも、プレゼンターとのやり取りの間で問題がいくつか発生したので、全体的にスケジュールを前倒しした方が良い。また、来年度は活動できるスタッフがほとんどいなくなってしまうので、スタッフ確保が問題となっている。

第4回・5回プレゼンテーションアワーの様子

 Presentation Themes Date: July 8th Fri. 16:45~18:45 Place: 国際教育交流センター EEC 1F Lounge			
PROGRAM	PRESENTER	TITLE	LANGUAGE
OPENING			
Presentation Time 01	村瀬 明彦 AKARI Murase	アメリカでの小さな発見メモ My small observations about the U.S.	ENGLISH
	江坂 大樹 DAIKI Esaka	マイカーズのものづくり Personal Fabrication of Makers	JAPANESE
	結安 咲 ANGI Hu	異文化に適応する方法〜8年間の留学から学んだこと〜 Assimilation: How to adapt with new culture "What I learned from 8 years of studying abroad"	ENGLISH
COFFEE BREAK			
Presentation Time 02	ヤン スンギョ YANG Seung-Gyu(ワザビ)	留学生コミュニケーション: どうしたらもっと近くなる? The communication of int'l students to get much closer to Japanese	JAPANESE
	藤田 聖人 MASATO Fujita	ユニークでクワイジーな人たちが新しい世界を繋ぐ Connect other world through unique and crazy people	JAPANESE
CLOSING			

現在、次回のスタッフを募集しています。
詳細は本日のスタッフまで!

プレゼンアワーの間、写真やビデオの撮影をしております。映りたくない方は受付までお伝えください。
During the event, we are going to take a video or photo. If you mind, please let us know at the reception.



 Presentation Themes Date: Dec 2nd Fri. 16:30~18:45 Place: 国際教育交流センター EEC 1F Lounge			
Times	Presenter	Title	Language
Opening			
16:45	わさび(ヤンスンギョ) Wasabi (Yang Seung Gyu)	フードコミュニケーション〜食が物で繋がる方法〜 Food Communication ~Getting Closer by Food~	Japanese
17:00	ジュシー・フロレス Jesse Josiah Flores	マスコットと大学祭〜アメリカの視点から日本の大学を見て〜 Mascots and the Power of School Spirit ~A Comparison to Campus Climate at American Universities~	English
Coffee Break			
17:20	川村 彩 Aya Kawamura	クオースにいったい何があると思いますか?〜国際青年交換事業を通して感じたこと〜 What Do You Think is the Country, Laos? ~The whole New Experience through Cultural Exchange~	Japanese
17:35	渡邊 唯菜 Hononori Watanabe	F&Mとは?〜名古屋大学の農業サークルって何してるの?〜 Introduction to F&M ~What is Agriculture Club of NU~	English
Coffee Break			
18:00	鈴木 友美子 Yumiko Suzuki	本当に役立つ記憶の方法と学習の関係 A Great Help of the Way to Memorize and the Relationship to Learn	English
18:15	佐藤 祥之 Tomoyuki Sato	ディベートが教えてくれたこと What Debate Taught Me	English
18:30	マザーハウス The Motherhouse	マザーハウスで働くとは? ~Meet the New World~ Why I Work at "Motherhouse" ~Meet the New World~	Japanese

プレゼンアワーの間、写真やビデオの撮影をしております。映りたくない方は受付までお伝えください。
During the event, we are going to take a video or photo. If you mind, please let us know at the reception.

編集: 若杉 美穂

ヘルプデスク 2016 年度活動報告

文責 嶋田耕太郎

1. 団体紹介

ヘルプデスクは名古屋大学の交換留学プログラムである NUPACE の交換留学生の学生生活を支援するための留学生支援団体である。新規受け入れ留学生を対象とした春・秋の年 2 回の入寮手続きの補助、学期開始から約 1 か月間、留学生からの質問・相談への対応を行い留学生の日本の学生生活へのスムーズな適応の協力を努めている。また学生間の交流の促進を目指して、留学生の要望や所属メンバーの提案に応じて日本人学生と交換留学生の交流のためのイベントを開催している。この団体は学部生や院生に関わらず多様な専門分野をもつ学生から構成されており、語学力に関係なく留学生の大学生活を支援したい、留学生との交流をしたいという意欲のある学生が多いことが挙げられる。

2. 活動理念

留学生にとって最も身近な存在となり、日々の交流やイベントを通してお互いの文化や考え方、そして思い出を共有し、名古屋大学に留学してよかった、また留学生ひとりひとりにとって彼らの留学生活が充実していたと心から思ってもらえるように日々の活動に努める。

3. 活動報告

2016 年度年間活動

3 月	入寮支援（受け入れ）準備、ヘルプデスク説明会
4 月	受け入れ、通常デスク、お花見パーティー
6 月	名大祭フリーマーケット、花火大会
9 月	後期受け入れ入寮準備、ヘルプデスク説明会、受け入れ
10 月	通常デスク、ハロウィンパーティー

○受け入れ（前期・後期）

NUPACE 交換留学生の入寮先である名古屋大学国際嚶鳴館の 1 階ロビーにて窓口を設け鍵、書類の受け渡しを行う。留学生の買い物に付き添う買い物ツアー、初日の夕食を学食で一緒にする夕食ツアーを合わせて行う。以下に詳細を記す。

・入寮手続き補助

日時：2015 年 4 月 1 日と 4 日（前期）2016 年 9 月 16 日と 20 日（後期）

場所：名古屋大学国際嚶鳴館ロビー

嚶鳴館入寮学生の入寮・入学手続きの補助を行う。部屋の鍵の受け渡し、オリエンテーション期間中の日程の説明と入学手続きのため、寮から NUPACE オフィスへと誘導。嚶鳴館管理人と自治会学生及び東山レジデンスの受け入れを担当する異文化交流サークル ACE と連携。

・買い物ツアー

日程：2015 年 4 月 1 日、2015 年 9 月 16 日

場所：八事 AEON

生活必需品を備えていない留学生の当面の生活で必要となる食料・日用品の購入のため、寮の近くのショッピングモールまで地下鉄で一緒に移動、モール内の案内をする。

・夕食ツアー

日程：2015 年 4 月 1 日、2015 年 9 月 16 日

場所：ダイニングフォレスト

自炊環境が整っていない初日の夜に、大学の食堂で共に食事をして交流を図る。大人数なので食堂の職員の方に前もって連絡をする。

・ウェルカムパーティー

日程：2015 年 4 月 4 日、2015 年 9 月 20 日

場所：名古屋大学国際嚶鳴館 1 階ロビー

日本に来て間もない留学生に交流の場を設け、充実した留学生活、寮生活の第一歩としてもらう。留学生が日本人の友達を作る機会を作るため、日本人学生も自由に参加できるようにしている。

○通常デスク

日程：2015 年 4 月 11 日～、2015 年 10 月 1 日～の約一ヶ月

場所：国際教育交流センター1 階ロビー

新学期開始後の約 1 ヶ月間、国際教育交流センターのロビーにある HELPDESK にて留学生の質問・相談に应对した。授業が行われる建物や教室の場所、履修登録の手続き、部活動・サークルへの参加の案内などの質問があった。時間帯によってはデスクに誰もいないときがあるという課題があったので、授業がないときは積極的にセンターにきてデスクに座る、留学生と関わるようにメンバーに呼び掛けたところこの問題はかなり改善された。だが、1 限開始前などはなおメンバーが集まりにくいので、特に学期開始後 1 か月程度、留学生がまだ学校生活になれない時期はシフトを決めて活動することを検討したい。また、この期間中は週 1 回ミーティングを行い質問された内容を共有し回答ができるようにした。

○お花見パーティー

日程：2015 年 4 月 16 日

場所：鶴舞公園

30 名ほどの留学生と日本人学生が参加し、持ち寄ったお菓子や屋台の食べ物を食べながら花見と交流を楽しんだ。満開の桜に喜んでもらうことができた。

○名大祭フリーマーケット

日程：2016 年 6 月 10 日、11 日

場所：名古屋大学 第二グリーンベルト

コーヒアワーと合同でフリーマーケットを行った。各国際交流団体で出店物品の提供をお願いし、売上より団体の活動資金を獲得することができた。団体間の連携も取れ、活動の幅を広げることができたので今後も継続していきたい。

○花火大会

日時：2015 年 7 月 15 日

場所：砂田橋駅近くの河川敷

毎年恒例となっている行事で、日本式の花火を経験したことのない留学生には特に楽しんでもらえた。当日は 30 人ほど参加し、後片付けまでしっかりと行った。

○ハロウィンパーティー

日時：2016 年 10 月 30 日

場所：国際教育交流センターロビー

100 人以上の学生が参加する、後期最大のイベント。コスチュームコンテストを行い、気合の入った個性的な仮装を楽しむことができた。お酒の提供時には年齢確認を徹底して行いルールを守って全員が楽しめる会とした。ミーティングを重ね当日のタイムスケジュールや役割分担を前もってしっかり行ったので、参加者の数が多くてもスムーズに受付や進行を行うことができた。またシフト性にしたためメンバー自身もパーティーに参加できた。来年以降の今年までに培ったノウハウを活かしてパーティーを成功させたい。

4. 反省及び今後の目標

今年度も NUPACE オフィスと連携し、受け入れ活動や各種イベントを成功させ、留学生と日本人学生の交流を促進することができた。去年までと比べ、主要メンバーが代替わりして低学年が中心となっているが、ベテランメンバーが助言・監督をきちんとすることで安定したグループ運営やイベント実施が行えている。しかし反省点として、仕事を中心メンバーに集中しすぎるものが挙げられる。来年度は中心メンバーが他のメンバーにきちんと仕事を割りふり、全員が当事者意識をもって活動できるようにしたい。今後は留学生と身近に交流ができるこの団体の良さを広く伝えていくとともに、他の国際交流団体と更なる連携を取っていくことで留学や国際交流に興味のある名大生の参加を増やしていきたい。

「留学のとびら 2016 年度 活動報告書」

(文責：村瀬裕太、平井智章、宗宮駿介、渡辺千晴、村田愛美、青木勇磨)

0 留学のとびらについて

留学のとびらは、名古屋大学学生（以下名大生）の留学支援を目的とした、名古屋大学海外留学室公認の学生団体である。名古屋大学の各種留学プログラムの中でも特に、一学期間以上の長期留学である交換留学のための支援を主な活動内容としている。実際に名古屋大学の留学プログラムに参加した留学経験者や、今後留学をしようと志している名大生によって運営されている。多様なバックグラウンドを持つメンバー同士で、目的達成に向け活発に話し合い、企画を立て、海外留学室に相談し、実行に移すといった自律的かつ活発な姿勢が団体の特徴である。

0 留学のとびらの理念

1. 世界を知り世界に通用する名大生の輩出
 - 留学を希望する名大生に、情報収集の場を提供し、また留学を検討していなかった学生にも留学の魅力を伝え、多くの名大生の留学のきっかけになる支援をしていく。
 - 将来的に世界に向けて活躍する名大生の育成の機会へ繋げる。
 - 名古屋大学から派遣される交換留学生の量と質の両方の向上に取り組む。
2. メンバーの個性とリーダーシップの発揮
 - メンバーの一人一人が個性とリーダーシップを発揮し、互いの成長を刺激し高め合う。多様な価値観を相互に尊重し合い、メンバーの大学生活の充実を支える笑顔あふれる団体であり続ける。

0 設立の経緯と活動

2009 年に留学より帰国した学生が設立した「留学のとびら」は、2016 年で設立 8 年目を迎えた。(2010 年より主要メンバーが卒業・進学等で団体運営が困難になったため海外留学室が主体となり、2010 年 12 月に新たにメンバーを募集して再設立) 留学のとびらの特徴として、半年ごとにメンバーの大半が入れ替わることが挙げられる。半年を単位として、留学の際の渡航、留学からの帰国、就職活動、卒業等が繰り返され半年ごとに雰囲気は新しくなる団体である。メンバーの流動性の高さゆえに短期間で関係を構築する高いコミュニケーション能力が必要とされる。2015 年度には学部一年生がメンバーに加わるという現象が見られたが、今年度も新たに一年生メンバーが加わった。また、昨年度の一年生メンバーは順調に留学に向け準備を進めており、団体内でのサポート体制が確立してきたように見える。

o メンバーについて

- 2016 年度の終了時点でのメンバーは 29 名であり、増加傾向にある。(学部生と大学院生を含む)
- 留学経験者メンバーの留学先国、大学は様々であり、また春派遣交換留学経験者がメンバーに加わるなどメンバーの多様性も充実している。

前期代表：宗宮駿介

後期代表：平井智章

o ミーティングについて

- 週に 1 度、1 時間～1 時間 30 分程度。学期が始まる前の長期休暇中にメンバーの都合の良い曜日と時間を集計し決定する。前期は毎週木曜日 12:10～13:30、後期は毎週水曜日の 12:10～13:30 に行っていた。
- 今後のイベントの企画・相談(留とびアワー・ランチ・留学フェア等)、スケジュールの決定、団体としての役割の確認や実施したイベントの反省などを行う

o 2016 年度の留学のとびらの取り組み

- 「留とびアワー・留とびランチ」

概要：

2014 年度からの取り組み。留とびアワーでは留学経験者がテーマを決めてプレゼンを行う。留とびランチでは、座談会形式で留学経験者が留学志望者の個別の相談に応じる。主な目的は、留学に関心のある学生がいつでも気軽に留学経験者に留学に関する相談や質問をできる場を提供することである。また、メンバー内での経験談の共有という目的もある。

日時：

毎週金曜日のお昼時間 (12:10- 12:50)

場所：

IEEC301 教室、CALE 棟 (アジア法交流館) 日本語演習室 1

テーマ：

5/27	留とびランチ	「留学経験者との相談会」	
6/10	留とびランチ	「留学経験者との相談会」	
6/17	留とびランチ	「留学経験者との相談会」	
6/24	留とびランチ	「留学経験者との相談会」	
7/1	留とびアワー	「アメリカでの食生活」	青木勇磨 アメリカ

7/8	留とびアワー	「フランスの食べ物」 野呂文香 フランス
7/15	留とびアワー	「オーストラリアの食事情」 稲垣覚子 オーストラリア
10/14	留とびランチ	「秋派遣留学の応募に関する相談会」
10/21	留とびランチ	「秋派遣留学の応募に関する相談会」
10/28	留とびランチ	「秋派遣留学の応募に関する相談会」
11/4	留とびランチ	「秋派遣留学の応募に関する相談会」
11/18	留とびアワー	「イギリス留学と旅」 平井智章 イギリス
11/25	留とびランチ	「留学経験者との相談会」
12/2	留とびアワー	「スウェーデン留学のススメ」 太田貴之 スウェーデン
12/9	留とびランチ	「留学経験者との相談会」
12/16	留とびアワー	「フランスとファッション」 野呂文香 フランス
1/20	留とびアワー	「香港と Hong Kong」 大淵瑛子 香港
1/27	留とびアワー	「アメリカ旅行記」 村瀬明里 アメリカ

実施結果：

毎週2～3人の留学に関心のある学生と、3～4人のメンバーが参加し、留学に関心のある学生に対する情報提供、不安の解消、モチベーションの向上、また、交換留学経験者と繋げるという点において一定の役割を果たした。特に交換留学派遣応募前には10人弱の留学志願者が参加し、大学選択などについての相談を行った。プレゼンアワーでは「食」などの身近なテーマが、留学を考え始めた学生に好まれる傾向にあった。課題としては、不十分な集客があげられる。今後は学生のニーズに合った内容、テーマ、時期を慎重に検討する必要がある。また、十分な広報を行う必要がある。

● 「Global Network 説明会」

概要：

Global Network が合同で新入生を対象とした団体の紹介を行った。目的は新入生に各団体の活動やイベントについて知ってもらうこと、また新入生の勧誘である。また、Global Network の中での横のつながりを強めるということも目的であった。各団体が順番にプレゼンテーションを行い、その後質疑応答の時間を設けた。また、4/15の午後の会では交流会を設け、新入生と団体メンバーが座談会形式で自由に話せる時間とした。

日時：

4/13、 4/15 お昼休み (12:10～12:50)

4/15 (16:30～18:00)

場所：

IEEC215 教室

実施結果：

毎回 10 人程度、計 30 人の新入生が参加した。留学のとびらの新入生に対する認知度を高めることができ、同時にイベントの広報を行うことができた。しかしながら、集客という点では予想を下回った。企画に対するニーズを踏まえ、今後に繋げる必要がある。

- 「Mini 留学フェア」

概要：

2016 年夏の短期留学に参加する場合でも申し込みに間に合うように、毎年開催している留学フェアより早い時期に小さい規模で試験的に開催した。目的は、経験者による実体験をもとに留学の紹介や相談を行うことで、学生にとって留学がより身近なものであると感じてもらえるような機会にすることである。特に新入生に対しては早いうちから留学のビジョンをもってもらえるようにしたいと考え、4 月に開催した。

リーダー：村田愛美

日時：2016 年 4 月 22 日(金) 16:30-17:30

場所：IEEC201 教室

実施結果：

地獄の細道や全学教育棟におけるビラ配りなどの効果により、参加者は新入生が中心であった。留学のとびらのメンバーが経験者として各自留学経験の資料を作成し、それをもとに説明を行った。対面式で留学プログラムの紹介・相談を行ったことで、参加者からの細かな質問などにも対応することができた。反省点として、イベント開催にあたり人手不足だったために上手く仕事の分担が行えなかったこと、十分な集客が行えなかったことが挙げられる。広報の仕方や時期に工夫が必要である。

- 「名大生のための海外留学フェア」

概要：

留学に興味がある学生、留学志望者を主に対象としたイベントであり今回で 10 回目の開催となった。交換留学に行った学生が、どうして交換留学に応募し、どのような準備をしたのか、留学先ではどのような変化があったのかなど、なかなか聞くことができない留学経験者の実体験から、留学の具体的なイメージを掴んでもらうことを目的としている。

リーダー：羽根良亮

日時：6月22(水) 15:00～18:00

場所：中央図書館、ディスカバリースクエア

実施結果：

＜一部：パネルディスカッション＞

ファシリテーター：宗宮駿介

パネリスト

- 1 アメリカ 村瀬明里(経済学部)
- 2 スウェーデン 木下悟(農学部)
- 3 オーストラリア 稲垣覚子(文学部)
- 4 アメリカ 横山太一(工学部)

質問内容

- 1 留学に興味を持った理由
- 2 語学の準備
- 3 行った直後の話(トラブルなど)
- 4 最初の学期の授業スケジュールと内容
- 5 カルチャーショック
- 6 現地での娯楽(空き時間、週末)
- 7 長期休暇の過ごし方
- 8 初学期からの変化
- 9 参加者へメッセージ



パネルディスカッションの様子

<二部：フリートーク>

派遣地域ごとに分けて、留学経験者と留学に興味のある人が自由に会話する機会とした。

反省：

大きく分けて、留学経験者の確保、広報が挙げられる。

アメリカの大学では学期が遅くとも 5 月中には終了するため、帰国直後のパネラーを確保することは比較的容易であったが、ヨーロッパとアジアの大学は学期が 6、7 月に終了するためパネラーの確保が難しかった。また、一年前に帰国した学生の多くが就職活動等で忙しく、結果的にアジアでの留学経験者をパネラーとして用意することが出来なかった。次回の開催時は、一年前のヨーロッパとアジアの留学経験者へも含めて早めに連絡を取り、パネラーを確保するべきである。広報は Facebook やホームページ、留とびランチ等のイベント、ポスターを通して行われたが、予定していた参加者数を下回る結果となった。このイベントに限らず、効果的な広報を考える必要がある。

● 「留とびブログ」

概要：

2014 年度から始まった取り組み。留とびメンバー一人一人が順番でブログを更新し、留とびホームペ

ージと留とびフェイスブックページ上にアップしていく。留学経験者のリアルな留学経験談を読むことができ、留学に興味のある学生に情報収集、関心を高める役割を果たしている。

内容：

各メンバーの留学した国や大学に関すること、語学の勉強方法など。

- 「秋留学フェア」

概要：

毎年開催している留学フェアより遅い時期に、すでに留学の意思を固めている学生が志望校を決める判断材料を得る場として開催された。形式は 90 分のフリートークである。

目的：

- (1) 留学志望者が様々な国・大学について留学経験者から気軽に情報を得て、大学を比較しながら志望校を絞る場の提供、
- (2) 留学経験者が留学志望者と話すことを通して、留学経験から得たものを振り返り整理する機会の提供の 2 点である。

留学費用や勉強時間などよくある質問は大学ごとに資料にまとめて来場者に配布することで、より個人的な質問に時間を使えるよう配慮した。

日時：10 月 19 日（水）

場所：IEEC 1 階ラウンジ

実施結果：

知人の紹介や Facebook 経由で計 12 人が来場した。来場者へのアンケートでは「いろいろな大学を比較できた」、「個人的な質問をできた」、「勉強時間などの資料がありがたかった」などの声が上がっており、満足度は高かった。

一方で、集客には改善の余地がある。次回開催の際は、どの宣伝経路から何人集客するか細かく目標を定め、週ごとに目標達成率を確認して方向修正していく必要がある。そうすることで、より多くの留学志望者に有益な情報を得る場を提供したい。



- 「留とび・オリエンテーション内企画(2017年3月10日)」

概要：

毎年、秋派遣の最初(12月)と派遣直前(7月)のオリエンテーションで留学のとびらのメンバーから2名程度派遣し、プレゼンテーションを行ってきた。しかし、プレゼンテーションでは留学のとびらから交換留学派遣生に対して一方向的な情報の発信しか出来ず、交換留学派遣生同士の意見交換や交流を促進することができなかった。そこで、派遣生同士の親睦を深める目的で、「隣人トラブル」と「異性トラブル」に関し、留学のとびらのメンバーが体験したものを元に派遣生同士で意見を出し合って回答してもらう参加型の企画を提供した

日時：3月10日(金)

場所：国際棟2階のCALEフォーラム

内容：

まず、4人ずつのグループを作ってもらい、まず留学中にどのようなトラブルが発生するか考えてもらい、数グループに意見を出してもらった。そして「隣人トラブル」と「異性トラブル」お題に対する意見を出し合ってもらった。発表した内容として

①隣人トラブル

- 寮内に設置されているキッチンの冷蔵庫に自分の食べ物を置いていたものが無くなった場合の対処法

②異性トラブル

- 女子学生が交換留学中に距離が近くなってしまった男性に対する対応の仕方
- 男子学生が留学先で女性と二人で飲みに行った時の飲みの方での対応の仕方などであった。

反省点：

留学のとびらとしては、各グループで意見が出てよかったと考えている。

しかし、予定していた時間(30分)を越えてしまった点が問題点として挙げられる。参加型企画ということで段取りと時間の取り方に不慣れな点が見られた。

○ 来年度の抱負

来年度の抱負としては以下の二点があげられる。

一点目は、留学のとびらの知名度の更なる向上である。来年度には、設立9年目を迎えこれまで様々な活動を行ってきたが、その活動範囲はいまだ限定的であり、団体の知名度が高いとは言えない。留学自体がより身近になり始めていることは実感としてあげられる。今後は一歩踏み込んで、より多くの名大生に留学経験者からの等身大の助言や様々な情報提供ができるよう改善していく。

二点目は、安定した団体としての組織づくりである。今までの留学のとびらの傾向として、代表を中心とした一部のメンバーに業務が偏ってしまうという問題がある。率先して業務をこなせるよう、団体内での環境改善も必要である。また、業務の引継ぎも、長年の大きな課題であった。そこで、来年度こそは安定した組織をつくるため、今年度限りで卒業される先輩に詳細なこれまでの活動や組織作りについて聞くとともに、確実に伝承できるような措置をとる。

English College Annual Report

Written by Motoki Murakami,
M2 in the Graduate School of mechanical Engineering

1. Members

Motoki Murakami (an M2 in the Graduate school of Mechanical Engineering)
Tamami Katsu (a junior in School of Education)
Sai Bin (a junior in the school of engineering)
Maiko Mitsuya (a senior in the School of Informatics and Sciences)
Yosuke Sumi (a junior in the School of Informatics and Science)
Kenji Takada (a sophomore in the School of Engineering)
Akira Kishimoto (a freshman in the School of Engineering)

2. Activities

• Lunch English

Day and time: lunch time(12:10-12:50) every Friday

Venue: Mainly in Room 207W in IEEC

Content: Participants sit around tables randomly and have a chat in English while having a lunch. The topic is a wide variety. We sometimes have a talk about news, sometimes about private life or each major. The atmosphere is very informal and we can spend a lunch time enjoying English conversation.

3. What English College has provided for people here in Nagoya University

English College was established in spring, 2013. As an open “English speaking” event, Lunch English has been popular among those who seek an opportunity to speak English. Such kind of opportunities have been offered by many other English Conversation club, but these opportunities are usually only for a few members. So our main purpose is not only to offer the opportunity to speak English but also for all participants to spend fun time together speaking English. So we talk about a lot of things with members whose major and grade is different. We are able to have a fun time together and make our activities so meaningful.

4. Problems

We have some problems around our activities. First of all, it is very difficult to give every participant an enough time to speak English. There are many kind of people and their English level is different. So it is inevitable that high level English speakers have many time to speak. The best way to solve this problem is to make groups according to their English level. And one bad thing about this method is that it is hard to confirm the English level of all participants. We have to come up with new idea.

Secondly we cannot share information with all members. When I posted a message on a facebook on English College about temporary venue change, only a few members can see my message and few members join activity on that day. So I think we have to solve this problem as soon as possible.

Inspire Together ～グローバルサポーターのためのリーダーシップ研修～

文責：中山清香

1. はじめに

本プログラムは、①グローバル・リーダーシップ能力の育成、②国際交流活動に関心を持っている学生及びかかわっている学生が交流する機会を設ける、③国際交流活動内容、課題等をシェアし、今後の活動につなげる、の3点を目的として開催した。

2. 学生オーガナイザー紹介

立命館大学

中道彩（文学部 4年）

名古屋大学

村瀬裕太（文学部 4年）

中山清香（教育学部 4年）

嶋田耕太郎（工学部 3年）

野呂文香（文学部 4年）

リー・ヴィンセント（工学部 3年）

中村ルイザ（国際開発研究科 2年）

リー・ユイムオン（経済研究科 2年）

パル・シマタ・エラア（国際開発研究科 研究生）

3. 参加団体紹介

立命館大学 (12 団体)

衣笠キャンパスレジデントメンター

BKC キャンパスレジデントメンター

RSJP バディ

SKP バディ

SKP/BT バディ

OIC TISA

BKC TISA

BKC 留学サポーター

OIC 留学サポーター

SUP!

KIC TISA

まいる

名古屋大学 (5 団体)

ACE

Coffee Hour/ Presentation Hour

Help Desk

NUFSA

留学のとびら

4. プログラム概要

事前オリエンテーション

日時: 平成 29 年 2 月 15 日 (水) 12:00-13:30

会場: 名古屋大学 国際棟 308 教室

参加者: 名古屋大学からの参加予定学生

※立命館大学では事前オリエンテーションは行わず、メールによる連絡をした。

合宿

日時: 平成 29 年 3 月 3 日 (金) ～3 月 4 日 (土)

会場: 立命館大学いばらきキャンパス (大阪府いばらき市)

参加者: 名古屋大学学生 15 名, 立命館大学学生 19 名

1 日目 (3 月 3 日)

セミナー 1: アイスブレイク

ポスターセッション (各活動・団体紹介)

【学生チーム A】

セミナー 2: Progressing Together (各活動・団体及びキャンパスの国際化における課題共有・討論)

【学生チーム B】

セミナー 3: セルフ・リフレクション (モチベーション・グラフを使った振り返り)

【学生】

2 日目 (3 月 4 日)

セミナー 4: リーダーシップ研修

【堀江未来 (立命館大学), 高木ひとみ (名古屋大学)】

セミナー 5: 卒業生セッション

【卒業生】

5. 事業内容

事前オリエンテーション

最初に高木先生から開催趣旨についてご説明いただき、参加者の自己紹介を行った。その後、暫定的なしおりを配布し、スケジュールの確認及び保険についての説明・保険料の徴収を行った。また、合宿の事前準備として、ポスターセッションについての説明および当日話し合うテーマ (所属団体が抱える課題、大学の国際化についての考え) についてブレインストーミングを行った。

合宿

セミナー1

アイスブレイクとして、グループごとに「嘘つき自己紹介」を行った後、各団体の活動を紹介するためのポスターセッションを行った。ポスター作成については、先述の事前オリエンテーションの他、事前にメールで説明をした。セッション中には参加者が自由に部屋を移動して団体の説明を聞き、お互いの活動を共有する様子が見られた。

セミナー2

事前オリエンテーション及び事前にメールで寄せられた課題をもとに、「Communication & Language」「“Breaking The Invisible Wall” between international & Japanese students」「International Students’ Needs」「Organization and Teamwork」の4つのテーマを設定した。これらについて8グループに分かれて課題及び解決策を順に話し合った。教室の壁一面に備え付けられたホワイトボードを使用して討論を行ったため、各グループの話し合いの記録も参考にしながら活発な討論が行われた。

セミナー3

モチベーション・グラフを用いて自身の過去の経験について振り返り、そこから自分自身の原動力を探った。作成したグラフをグループ内で共有することで他のメンバーからフィードバックを受け取ることができ、新たな発見があったり、交流を深めたりしている様子がうかがえた。

セミナー4

立命館大学の堀江先生と名古屋大学の高木先生により、リーダーシップについての研修をしていただいた。まず、「リーダーシップ」と「マネジメント」についての講義をしていただき、それをもとにグループ内で意見交換をした。さらに、自分の強みについてアイディアマップを用いて考え、グループや組織運営においてそれらの強みをどう活かしていくかということを議論した。

セミナー5

立命館大学および名古屋大学の卒業生系6名を招いて卒業生によるセッションを行った。6つの学生グループが1人ずつ卒業生を選定し、インタビュー形式で卒業生の人物史を作って人生のターニングポイントやその人の人生に影響を与えた出来事等についてまとめ、発表を行った。

プログラムの最後には、参加者一人一人に修了証明書を手渡した。



2016 年度 ACE 活動報告

文責 伊藤滉太

1. ACE とは

《活動概要》

私たち ACE (Action group for Cross-Cultural Exchange) は、「交流・架け橋・ボランティア」を三大理念に掲げ、新しく名古屋大学を訪れた留学生の新生活をサポートすることを主な活動とするサークルである。留学生を支援し、日本人学生と留学生の交流を促進することを目的として 1988 年 6 月に全国に先駆けて結成された。

現在は、留学生の日本での新生活をサポートするための受け入れ活動を主軸として、さらに留学生と日本人学生両方を対象にした交流イベントも月に 1 回程度の目安で企画・運営している。普段は週 1 回、月曜の夜にインターナショナルレジデンス 東山の会議室を貸していただいてミーティングを行っている。

《組織編制》

毎年 6 月に行う「まじめ合宿」で代替わりを行っており、2016 年 6 月からは 29 代(主に 2 年生)が中心となり運営している。29 代の役職は、代表 1 名、副代表 2 名、会計 1 名、Facebook 広報 1 名、AFSA 班(月 1 回行われる AFSA (愛知留学生会) 会議に参加し、AFSA が主催するイベントの運営に携わり、サポートを行う役職)4 名、ACE メール(他団体や ACE への参加希望者からの連絡が届くメール)・メーリングリスト(ACE メンバーへの情報共有のために一斉送信されるメール)担当 1 名、ホームページ担当 2 名、One Drive(イベントのマニュアル等を共有しているクラウド)担当 2 名、議事録(毎週のミーティング後にその日の議事録をメンバーに知らせるメール)管理担当 3 名で構成されている。

各イベントの運営は毎回立候補によって決まったチーフ・サブチーフが行っている。名古屋大学のみならず、南山大学、金城学院大学、椙山女学園大学、名城大学等の近隣の大学からもメンバーが集まっており、全体の人数も年々増加傾向にある。

《受け入れ活動》

ACE の活動の中で最も重要とされているのが、この受け入れ活動である。受け入れ活動とは、4 月と 10 月に新たに名古屋大学に入学する留学生の新生活をサポートする様々な活動の総称である。

現在行っている具体的な活動には、レジデンス受け入れ(東山・山手・桜山・妙見)、キャンパスツアー、バザー(NUFSA 支援)、ウェルカムパーティー(NUFSA 支援)、遠足、おしゃべり散歩、パンフレット作製などがあげられる。

これらの活動を通し、留学生の支援だけでなく、留学生同士または留学生と日本人学生が交流する場の提供ができることから、ACE 内での意欲も高く、これからさらに活動の質を高めていくことを目標としている。

2. 2016 年度 ACE 活動報告

文責 宮田 莉奈

(1). 年間イベント一覧

- 4 月 受け入れ活動 新歓活動
- 5 月 うどん作り Kyoto 1Day Bingo
- 6 月 まじめ合宿 ボウリング
- 7 月 セタパーティー 餃子パーティー
- 8 月 韓国木浦大学の学生との交流 キャンプ 水遊び 富士登山
- 9 月 受け入れ活動
- 10 月 ハロウィンパーティー
- 11 月 井コンテスト 東山公園紅葉狩り 11 月企画
- 12 月 留学生のタベ ウィンターパーティー
- 1 月 お正月企画 カラオケ
- 2 月 スキー
- 3 月 春企画 お花見 スポーツ

(2). イベント概要

ACE は三大理念に基づき、留学生と日本人学生との交流の機会をイベントという形で提供している。留学生の受け入れ活動を特に重要視していることは、前述のとおりである。そのためここでは、受け入れ以外の活動について報告する。

ACE で行うイベントは、主に次の 4 つに分類できる。

- ①季節に沿うもの
- ②日本の文化を紹介するもの
- ③留学生と日本人学生との交流の場の提供を第一とするもの
- ④ACE の運営をより良くし、活動をより豊かにするためのもの

ここで、(1) で記載したイベントの中でもとりわけ①～④に分類しやすいと思われるものについて説明を加え、より具体的に活動報告を行う。

①セタパーティー

7 月 10 日にインターナショナルレジデンス東山で開催されたセタパーティーは、毎年多くの留学生や日本人学生が参加する一大イベントである。日本の伝統的なお祭りであるセタを知ってもらうため、セタに関するクイズ大会を開き、短冊を笹に飾ることのできるブースを設けた。夏祭りらしく、かき氷や流しそうめん、水風船、たませんなどのブースも設けた。また、ACE メンバーの多くが浴衣で参加し、雰囲気演出する一方で、浴衣着用で参加費を割引いたり、予め浴衣の安いお店を紹介したり、浴衣の着付け・体験ブースを準備したりもした。これは、参加者も一体となって雰囲気を味わう一助となった。今回も多くの好評を頂くことができた。

②お正月企画

お正月企画は、日本の伝統的なお正月を体験できるイベントとして、1 月 5 日にインターナショナルレジデンス東山にて開催された。毎年恒例のイベントであるため、昨年度好評だった企画を中心に行った。賽銭箱に参加費を入れてもらう疑似初詣や餅つき、お汁粉の振舞い、かるた、書初めといった昨年も行ったものはもちろんのこと、新しく取り入れた凧作りも留学生参加者に楽しんでもらうことができた。

③餃子パーティー

このイベントは 7 月 17 日に昭和生涯学習センターで開かれた、第一回目の f-ACE time である。餃子パーティーについての説明の前に、f-ACE time について説明する必要がある。

これは、昨年度まで「月一企画」という名称でおこなわれていたものが元になっている。変わった点は、月に一度と限らない点、留学生の希望やアイデアから企画する点である。これによって、

既存のイベントとのバランスを取ったスケジューリングや、留学生のニーズを取り入れた満足度の高いイベントづくりが可能になった。これまでに、水遊び・井コンテスト・東山公園での紅葉狩り・カラオケを f-ACE time としておこなってきた。

この餃子パーティーは、先の料理系イベントの人気の高さから企画された。焼き餃子だけでなく、餃子の皮を使ったピザやアップルパイも作った。少人数グループに分けておこなったことで、一人一人と親睦を深めることがより容易であった。そして、料理という一つの目的を有することで、比較的スムーズな交流ができた。

④11 月企画

11 月企画は「ACE の秋」をテーマに、11 月 26 日から 27 日に ACE メンバーのみでおこなった合宿である。ACE を知り、ACE の問題点を見つけ出し、解決を図るという一連の流れを意識した企画であった。運営代が交代*して半年近い 11 月に、課題をあぶり出し解決策を練ることで、その後の ACE の運営・活動に大いに生かすことができた。11 月企画を受けて始めた試みも多い。また、合宿という形をとったことによりメンバー間の仲が深まり、団体の雰囲気向上に繋がった。

* 6 月のまじめ合宿で運営代の交代、いわゆる代替わりを行う。以降は 2 年生が ACE の運営の中核となり、活動を進めてゆく。

(3). 今年度改善した点

昨年度の反省や 11 月企画で出た意見から、今年度新たな取り組みをおこなった。

〈ミーティング〉

- ・プロジェクトの導入 → ミーティングの時間短縮
- ・話し合いタイムの導入 → ACE メンバーの率直な意見を募るため
- ・リアクションペーパーの導入 → 言いづらいことを聞く、大量の意見を募るため

〈イベント〉

- ・f-ACE time という定例企画の打ち立て → 留学生の需要に合うイベント作り
- ・アンケートの実施 → f-ACE time イベント案の募集、イベントの満足度を知る
- ・アドバイザーを立てる → イベントチーフの企画進行におけるアドバイス

3. 来年度にむけて

文責：川元 優果

今年度は、昨年度の問題点として挙げた、留学生の参加人数が少ない事、ACE メンバー内のチーフ立候補が少ない事の二点を解決するため、新たに f-ACE time を始めた。f-ACE time とは、留学生のやりたいことを集め、それを ACE メンバーが十分に時間を使える時期にイベントとして形にする事をコンセプトとしたイベントの一種である。

しかし実際は、留学生の意見を募るシステムが確立されていないため、イベントの内容が定まらない点や、留学生と ACE メンバーとの時間的に余裕のある時期が異なるために、思ったように留学生が集まらないといった問題も抱えている。来年度に向けてもう一度システムを練り直し、留学生、ACE メンバー双方にとってよい交流の機会となるよう改善していく必要がある。

運営面においては、今年度は新たな取り組みを数多く進めてきた。そして、それぞれが軌道に乗ってある段階である。課題は多いが、来年度にはシステムの確立をさせて、様々な活動の質を高めたいと

思う。

最後に、ACE は比較的人数の多い団体であるため、数多くの意見が存在し、それをまとめるのは難しい場面もある。そういった個々の ACE メンバーの考えとそれぞれの目的を尊重しつつ、活動の軸である国際交流をより活発にできるよう、団体一丸となって活動を進めて行きたい。

名古屋大学留学生会
Nagoya University International Student Association (NUFSA)
2016

Vincent LEE

1. About NUFSA 名古屋大学留学生会について



Nagoya University International Student Association (NUFSA) is a diverse and cultural student led organization founded by Nagoya University in 1985. Primary objective is to bring together all international students enrolled in Nagoya University and visiting scholars. Our mission is to create a sense of community by facilitating intellectual, cultural, and social exchanges among international students, faculty and staff. We also foster understanding of diverse cultures and help to develop a cosmopolitan outlook among foreign students, and between foreign students and Japanese students. Finally, we serve as support to incoming international students in adjusting to their new cultural setting in Nagoya and creating opportunities for networking.

2. Name 名前

NUFSA is short for Nagoya University International Student Association (名古屋大学留学生会). It originally stood for Nagoya University *Foreign* Student Association. However, in 2015, it was decided that the association would be renamed to Nagoya University *International* Student Association (while keeping its initial abbreviation – NUFSA) to embrace global and international student base of Nagoya University.

3. Executive Board

- President: Vincent Lee (Brazil)
- Vice President: Mehriban Ahmadova (Azerbaijan)
- Treasurer: Tingfang (China)
- Secretary: Simata (Tonga)
- PR Officer:

4. Membership

NUFSA membership is free of charge and can be granted to any international students (foreign and Japanese) enrolled in Nagoya University, regardless of their nationality, major, schools, degrees, etc. To be able to join the group and participate discussion for existing events or to bring new ideas all is necessary to do is register at nufsa.nagoya@gmail.com

5. Networking

Please find us @:

Facebook: <https://www.facebook.com/nufsajp/>

Email: nufsa.nagoya@gmail.com

6. Support

NUFSA is receiving support from various organizations. We are financially supported by Nagoya University Foreign Student Support Association and we regularly receive technical or organizational support from Nagoya University International Student Advisor Office. We also collaborate with volunteer groups (ACE, YWCA, Tomodachi-kai) for organizing activities such as bazaars, welcome parties, etc.

7. Activities

❖ Orientations for Incoming International Students

NUFSA participates in orientations for incoming international students held in student residences (International Residence Higashiyama, International Ohmeikan House, International Residence Yamate, Ishida Memorial International Residence Myoken, Idaka-cho Residence, Foreign Student House). The purpose is to introduce ourselves to newcomers and give them first necessary information and tips for daily living and university activities.

❖ Bazaar

Every year in April and October, NUFSA, in collaboration with ACE, Tomodachi-kai and YWCA, holds bazaar at Nagoya University International Residence Higashiyama. The bi-annual NUFSA International Students' Bazaar is an absolute goldmine of quality secondhand home necessities (tableware, furniture, electrical appliances) at extremely cheap prices.

❖ Welcome party

We organize welcome party, which is a platform for old students to welcome new students and it is also an avenue for interaction, networking and social exchange of ideas, experiences and culture. This is the first foundation towards building strong lasting friendship in most cases. We offer not only delicious food and drinks but also live music with great performances.

❖ Otsukaresama party バザー・ウェルカムパーティー協力者とお疲れさま会

We also organize a thank you party for ACE members for always helping NUFSA and providing support for the members in organization of bazaar and welcome party. Here, NUFSA and ACE members become closer in a relaxed friendly atmosphere.

❖ Tandem

Since year 2016 we have launched new project called Tandem, which is an opportunity for those who are willing to master a language (or two) and even get accustomed with cultural nuances by

communicating with native speakers. Tandem, basically, means having two or more individuals with skills they can share with one another. Just fill out the questionnaire form providing information about the languages they know and the languages they are wishing to excel at. NUFSA will connect you with the partners they best match with.

❖ Cinema club

Cinema club is another newly launched monthly event (free of charge), which is held at Craig's Café. We choose a country or topic for the movie, hear your choices, let you vote and enjoy watching great movies. It is a great opportunity to discover international films from different parts of the world, learn new cultures, take a break from studies in a cozy environment among friends and peer movie enthusiasts.

❖ Academic Activities

Japanese Language & Culture course for foreign students' family members, sponsored by Nagoya SAKAE Lions Club.

From the total revenue obtained during 2016 spring bazaar sales, NUFSA donated one hundred thousand yens to help Kumamoto's reconstruction.

<http://mainichi.jp/articles/20160617/ddl/k23/040/132000c>

PHOTOS

Bazaar Spring/Fall 2016





Line up for ticket sale

Kitchen tools and utensils



Futon, blankets and carpets

Electric appliances



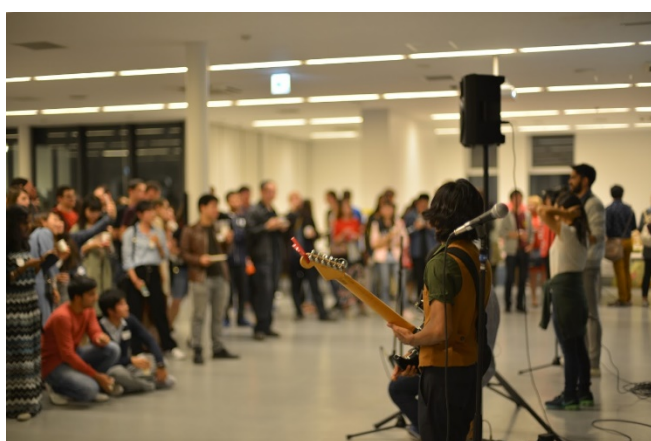
And many more...



Welcome party 2016



Live music, great new acquaintances, and wonderful memories...



Otsukaresama party バザー・ウェルカムパーティー協力者とお疲れさま会





NUFSA CINEMA CLUB is for those who want to enjoy a good movie with a good company. Take a break from studying, grab a drink, make new acquaintances and friends.

TIME - Join "NUFSA Cinema Club" on Facebook for updates
LOCATION - Craig's Café (on the map )

Get one item from the café and enjoy the movie with a good company!



NUFSA is a student organization, which aims at creating an enjoyable study environment for international students of Nagoya University. Many events are organized by NUFSA every year.
nufsa.nagoya@gmail.com
<https://www.facebook.com/nufsajp/>



Салеметсіз бе! नमस्कार! Cześć! | Kola!
안녕하세요! 你好 Γεια σας!
Kallá! Salom! السلام عليكم
こんにちは! Xin chào! Olá! Ciao!
สวัสดี Bonjour! Кай! Hello! Merhaba! Kumusta!
Сайн байна уу! Ара Кабар! Kello!
Salam Oleyküim! Діліш Здравствуйте!



TANDEM

"Tandem" will help you expand your language and cultural knowledge by bringing you closer with people from all over the world

Choose the language you know and want to learn, and we will help you find a partner who can teach and learn from you.



Fill in our questionnaire to join "Tandem" using QR code, and our moderators will contact you 

Questionnaire



NUFSA is a student organization, which aims at creating an enjoyable study environment for international students of Nagoya University. Many events are organized by NUFSA every year.

nufsa.nagoya@gmail.com
<https://www.facebook.com/nufsajp/>